

新倉ふれあいの森 春の野草観察と竹の子掘り 会報 VERDA86 号

2010年4月24日(土) 9時40分受付 10時~12時 参加者 15組45人(高橋記)
NPO法人 和光・緑と湧き水の会主催、環境課後援、J-COM 東京から取材を受け5月に放映
中蔦環境課長、湧き水の会・東、赤松、植竹、内田、高柴、星野、飯島、富沢、原田、
高橋絹世(会員10名)(連絡先 電話 462-9912)

前日の雨が上がり久しぶりの好天にめぐまれた。気温の低い日が続き竹の子の成長が遅い。
親子ずれ、ご夫婦、大人の参加もあり、竹の子掘りを楽しみに問い合わせが多く、参加が多かった。
1班と2班に分けて、1班から先に春の植物観察を行い、10分遅れで2班の観察を始めた。
寒い日が多く野草が一斉に咲きだして、都市部の緑地としては見ごたえがある。階段上の大木、コナラ、
シラカシ、低木のウワミズザクラやガマズミなども観察。竹林の絶滅危惧種のヤマブキソウも観察。
全員揃った所で環境課の中蔦課長のご挨拶のあと、竹林の管理について説明した。その後竹の子掘り。



中蔦環境課新課長においで頂きました 参加者全員でふれあいの森を楽しみました キンラン・5月



大きな竹の子掘れたね。竹林の保全から竹の子掘りまで関わってます。こんな所に竹の子、掘れるかな



大きい子供たちは協力して



竹きり体験。いろんなものに使えるよ



ヤマブキソウの黄色い花
今年も元気に咲きました